

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスKiddy四日市南			
○保護者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年11月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2025年10月1日 ～ 2025年11月1日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月6日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者同士、子どもたち同士、スタッフとのかかわりを持ち、楽しく交流する場を設けることができた。	今年度は、夏休み期間に「夏祭り」を開催し、食事と一緒にしたり、輪投げやお面づくりなどを保護者の方にも見守っていただきながらしたりと、施設内で保護者と子どもが共に過ごすことのできる機会を設けたこと 保護者同士で話をしたり、スタッフと話をしたりすることができた。	来年度からも保護者と子どもたちが参加できるイベントを考えていく。
2	毎月の活動のプログラムを全スタッフで活動案を会議に挙げて話し合いをし、たくさんの情報を集めて考えている。	毎月の支援会議の中で、活動案を出していただいている。「kiddy活動案」というLINEグループを作り、そこへ利用者の方にしてほしい、みんなでしたら楽しそう、こういう能力を身に付けることができるなど感じた活動をアップしていただいている。	調理活動、電車を利用しての出かける活動など、日常生活をする中で必要な力を身に付ける活動をこれからも実践していく。
3	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	毎日の朝礼で打ち合わせする内容を、朝礼ノートというものを作り、そこへ記入し、パートさんにも周知している。	スタッフ同士での会話や決まったことなどが書かれている朝礼ノートや毎月開催される支援会議の議事録などで、子どもたちの様子やこれからどのように関わっていけばよいかを引き続き実践していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者様への口頭での周知はできているが緊急時対応マニュアルは確認を行う事を主軸とし訓練体制がない	マニュアルを策定はしているが訓練まで必要とする認識が無かった	緊急時の訓練を実戦形式で実施する体制をとっていく必要がある
2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応をすることができていない	医師の指示書に基づいた対応ができていない。	医師の指示書はないが、児童のアレルギーの有無をアプリで把握し、調理の活動をする時などは、公式LINEで保護者に確認している。
3	他施設(放デイ・児発・学童など)との交流などを促す機会がない。	事業所同士の横のつながりや学童と交流する機会を作りたいと考えているが、機会やそもそもの運び方が分からず、参考にできる事業所の情報を集めること実行することができていない。	スタッフのお子さんや同じ系列の施設との関わりを増やしていき、そのあとから他施設との交流を促してみる。